



2024年2月14日

各 位

会 社 名 電気興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 近藤 忠登史
(コード番号 6706 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 浅井 貴史
(TEL. 03 - 3216 - 1671)

(訂正)「2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2024年2月9日に公表しました「2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

「2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明①電気通信関連事業」、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」において、記載に一部誤り等があることが判明したため、これを訂正いたします。

なお、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書への影響はございません。

2. 訂正箇所

訂正箇所には下線を付して表示しています。

(添付資料2ページ)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

【訂正前】

(1) 経営成績に関する説明

<省略>

① 電気通信関連事業

<省略>

その結果、受注高は前年同期比11.2%減の160億5千5百万円、売上高は前年同期比14.1%減の130億7千9百万円となりました。また、セグメント損失(営業損失)につきましては、**8千1百万円**(前第3四半期連結累計期間は1億5百万円のセグメント利益(営業利益))となりました。

【訂正後】

(1) 経営成績に関する説明

<省略>

① 電気通信関連事業

<省略>

その結果、受注高は前年同期比11.2%減の160億5千5百万円、売上高は前年同期比14.1%減の130億7千9百万円となりました。また、セグメント損失(営業損失)につきましては、**1億3千9百万円**(前第3四半期連結累計期間は1億5百万円のセグメント利益(営業利益))となりました。

(添付資料9ページ)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

【訂正前】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

<省略>

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電気通信 関連事業	高周波 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,057	7,139	20,197	80	20,277	—	20,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	—	22	120	142	△142	—
計	13,079	7,139	20,219	201	20,420	△142	20,277
セグメント利益又は 損失(△)	<u>△81</u>	745	<u>664</u>	96	<u>761</u>	<u>△2,201</u>	△1,440

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備貸付事業並びに売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,201百万円には、セグメント間取引消去△50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,151百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「高周波関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において841百万円であります。

【訂正後】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

<省略>

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電気通信 関連事業	高周波 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,057	7,139	20,197	80	20,277	—	20,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	—	22	120	142	△142	—
計	13,079	7,139	20,219	201	20,420	△142	20,277
セグメント利益又は 損失(△)	<u>△139</u>	745	<u>606</u>	96	<u>702</u>	<u>△2,143</u>	△1,440

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備貸付事業並びに売電事業を含んでおります。

- セグメント利益の調整額△2,143百万円には、セグメント間取引消去△50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,093百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「高周波関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において841百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社サイバーコアの株式を取得し、同社及び同社の子会社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、「電気通信関連事業」セグメントにおいて、1,397百万円であります。

なお、のれんは、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。